

令和3年度学校評価基準

本年度の 重点目標	① 評価の三観点から授業の内容や指導等を捉え、授業改善を図る。 ② 段階に応じた感染症対策を行い、安心・安全な学習環境をつくる。		
項目	重点目標	具体的方策	評価と課題
三つの柱に 基づいた授業 改善	小・中・高共通 校内研究を通して学んだ三観点の捉え方を評価に生かし、授業改善につなげる。	<ul style="list-style-type: none"> 校内研究を通して学んだ三観点の捉え方を、Ⅱ期個別の指導計画における目標設定に生かす。(Ⅱ期) 単元や題材などの内容や時間のまとまりごとに、目標の達成状況を文章化するように働き掛ける。(通年) 設定した目標に対して三観点に基づいて丁寧に評価をする。 手立てについても評価し、次の授業に反映させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 校内研究や教務主任、学年主任と随時話し合うことを通して評価の三観点への職員の意識が高まり、押さえるべき観点を明確にして児童生徒の目標を立てることができた。 評価の際、過半数の職員が、三色の蛍光ペンで観点別に色分けをして文章化することができた。加えて、教務主任、学年主任との随時の話し合いを通して、具体的により分かりやすい表記へと改善することができた。 いくつかの学年において、2週間に1度行われる学年会で授業の振り返りを実践できた。
	研修部 教員が児童生徒の学習を三観点を評価する方法について共通理解を図り、学習指導の改善に活かす。	<ul style="list-style-type: none"> 評価の三観点に基づいた児童生徒の目標や授業計画、評価の設定について教員でグループ別で検討する機会を設け、授業実践を行う。 各グループの実践の成果や反省、改善点の共有を全校で図るため、校内で報告会を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 本校で作成したまとめシートを活用し、観点別に設定した児童生徒の目標及び評価を意識することで、学習計画の策定、授業実践を行うことができた。適宜、教職員間で実践内容を振り返り、改善点について話し合いながら取り組むことができた。 1月に全校で報告会を行い、成果を発表し合うことで、教職員の気付き、学びを共有することができた。事後アンケートの結果から、8割以上の教職員が観点別の評価の方法について理解を深めたことが分かった。
安心・安全な 学校づくり	保体部 手洗いの習慣を身に付ける。	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症対策として、手洗いチャンピオンシップの実施と啓発ポスターの募集を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 2学期に全校を対象に手洗いチャンピオンシップ実施した。その中で高等部1年生2類型を対象にした実践では、正しい手洗い(6項目で判断)ができる生徒が10パーセントから80パーセントになった。
	安全衛生委員会 風通しのよい職場環境をつくる。	<ul style="list-style-type: none"> 職員向けに意見箱を設置し、安心で安全な職場環境にするための意見を募集する。 	<ul style="list-style-type: none"> 毎月1回の委員会で、職員向けの意見箱や安全衛生委員会からの意見を情報共有し、施設面の危険な所や職員トイレの衛生面について改善することができた。
いじめに対 する取組	生活指導部 児童生徒をいじめに向かわせない(未然防止)ための対策を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> 年2回の生活アンケートを実施する。 生徒の情報交換を密に行い、いじめの兆候を見逃さないようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 生活アンケートの結果から、いじめの兆候ととれる案件について直ちに情報を共有し、適切に対応することができた。新型コロナウイルス感染症が生徒の心身に及ぼした影響を把握することができなかった。次年度は養護教諭と連携しアンケートの設問内容を検討していきたい。
職員の労働 環境・業務	にしお特別支援学校 開設を踏まえた令和4年度の行事の検討	<ul style="list-style-type: none"> 行事検討委員会にて、年間の行事の調整を行う。学校全体で取り組む行事について話し合う。 行事検討委員会で作成した令和4年度年間行事予定案を運営委員会にて報告する。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校全体で取り組む行事について、委員会の場で話し合うことができた。 委員会で話し合ったことを、分掌等で検討する機会にもなった。 業務の効率化に向けて、今後話し合っていくための基盤をつくることができた。
学校関係者評価を実施する主な 評価項目	<ul style="list-style-type: none"> 三つの柱に基づいた授業改善 安心・安全な学校づくり 		
総合評価	<p>新学習指導要領で示された、児童生徒に必要な資質・能力の三つの柱(学びに向かう力、知識及び技能、思考力・判断力・表現力)を意識した授業改善に取り組んだ。授業の実践、振り返り、改善を繰り返すことで、各部において、児童生徒の実態を複数の教員の視点で捉え、個々の児童生徒の力を多面的に引き出す工夫を実践することができた。</p> <p>段階に応じた感染症対策を行うことができた。安心・安全な学習環境を整えるとともに、児童生徒の感染対策への意識も高めることができた。</p>		